



環境政策効果について

本町では、令和3年7月28日に「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、脱炭素の政策を進めています。また、CO₂排出量に大きく影響するごみの減量についても取り組んでいます。

1. 脱炭素社会づくりについて

(1)カーボンオフセット事業

本町では令和4年度、森林環境譲与税を活用し川上村所有の森林整備によるカーボンオフセット事業を実施。これにより1.41t-CO₂の吸収量を創出し、奈良県の自治体初となる森林CO₂吸収量の認証を受けました。

※この事業と関連し、川上村との協定締結により、森林環境教育や間伐材を利用したマグネットバー作成など、森林環境関連のPRを実施しました。

(2)『地球温暖化対策実行計画（区域施策編）』策定に向け、検討調査を実施

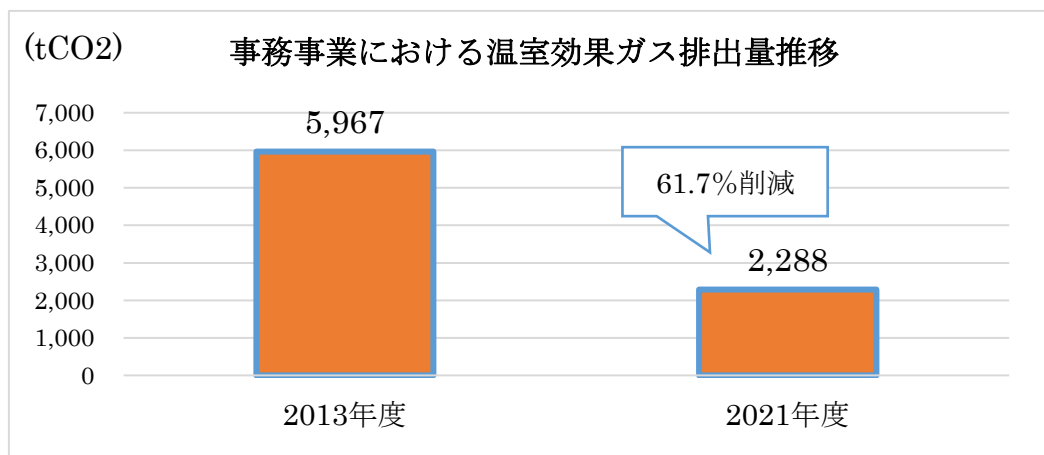
令和4年度、「2050年脱炭素社会実現シナリオ検討調査」を実施しました。この検討調査を基に、令和5年度には、『地球温暖化対策実行計画（区域施策編）』を策定し、脱炭素社会の実現を目指します。

(3)『地域温暖化対策実行計画（事務事業編）』における温室効果ガスの排出量削減

令和3年3月に地域温暖化対策実行計画（事務事業編）を策定し、事務事業における温室効果ガス削減について、2030年度に2013年度比69.1%削減という目標を設定しています。

事務事業における節電や公用車の燃料の節約、温水機器等の燃料の節約、空調設備の管理等のマネジメントにより、2021年度時点で61.7%の削減となりました。

【報道資料】



(4) 地方創生人材支援制度（グリーン専門人材）の活用

国（内閣府）の地方創生人材支援制度に令和4年度からグリーン専門人材が新設され、株式会社 ジェネックス（愛知県碧南市）から1名を「ゼロカーボン政策推進コーディネーター」として派遣を受けています。本町の脱炭素に関する様々な問題について共に取り組んでいます。

※派遣期間：令和4年4月1日～令和6年3月31日

2. ごみの減量について

ごみの減量と資源の有効活用などにより循環型社会づくりにつとめています。

◎ やまとクリーンパークへのごみの搬入量

R2年度 10,317 t R3年度 10,198 t R4年度 8,946 t

※令和2年度比 1,371 t 約13.3%減

(1) 本町が実施しているごみ減量事業について

① 食品資源循環事業（生ごみの堆肥化）

モデル地区5自治会内で参加していただいているモニター住民の家庭から出る生ごみや、学校給食の残渣を町が収集し、業者により堆肥化し、できた堆肥と花の苗をモニター住民や学校に配布しています。

（モデル地区自治会 201世帯、町内全小中学校7校）

R3年度収集量 2,665.5kg（R4年3月～実施）

R4年度収集量 38,894.5kg

【報道資料】

② 使用済み小型家電をリサイクル

使用済み小型家電製品を収集し、専門業者に引き渡しをしています。

○収集方法

- ・町民による清掃センターへのごみの持込（有料）
- ・庁舎等 8 ヲ所に設置されている「小型家電収集ボックス」（無料）
- ・年 3 回予約制の拠点収集（無料）

R2 年度収集量 14,210kg

R3 年度収集量 17,200kg

R4 年度収集量 17,090kg

③ 廃食油収集事業（廃食油を燃料に）

使用済みの食用油を町が収集し、業者によりバイオディーゼル燃料に変え、それを町が保有するバイオディーゼル車に使用しています。

R2 年度収集量 5,414 リットル

R3 年度収集量 6,134 リットル

R4 年度収集量 5,736 リットル

(2) リサイクルプログラム等に参加、協力

① パソコン、スマホ、小型家電等の宅配便収集サービス

町は、「小型家電リサイクル法」の認定事業者である「リネットジャパンリサイクル株式会社」と協定を締結し、家庭で不用となったパソコンや小型家電の宅配便による収集サービスを家庭からの排出方法の一つとして PR しています。

R2 年度収集量 1,571.1kg (R2 年 9 月～実施)

R3 年度収集量 1,053.9kg

R4 年度収集量 946.6kg

② 使い捨てカイロの収集

収集したカイロは、専門業者でキューブに加工され、水をきれいにするために利用されています。

R2 年度収集量 9.10kg (R3 年 3 月～実施)

R3 年度収集量 424.37kg

R4 年度収集量 623.57kg

③ 使い捨てコンタクトレンズの空ケースの収集

HOYA 株式会社アイケアカンパニーが実施する「コンタクトのアイシティ ECO プロジェクト」に町が参加。回収した空ケースの再資源化による環境保全や障がい者の自立・就労支援のほか、資源化により得た収益の全額を日本アイバンク協

【報道資料】

会へ寄付されており、角膜の病気による視力障害のある方の視力回復のために役立てられています。

R3 年度収集量 10.17kg (R3 年 5 月～実施)

R4 年度収集量 61.97kg

④ 使用済みインクカートリッジの収集

『インクカートリッジの里帰りプロジェクト』等により使用済みのインクカートリッジを収集。仕分け拠点の障がい者雇用や環境への貢献を図っています。

R2 年度収集量 8.60kg (R3 年 1 月～実施)

R3 年度収集量 73.87kg

R4 年度収集量 61.96kg

⑤ 使用済みハブラシの収集

「テラリサイクル社」が実施しているプログラムに参加協力し、住民から使用済み歯ブラシを収集。収集された歯ブラシは、専門業者により植木鉢にリサイクルされ、令和 4 年度には町内幼稚園に植木鉢を配布しました。教育支援や地域支援に活用します。

R2 年度収集量 16.15kg (R2 年 8 月～実施)

R3 年度収集量 42.90kg

R4 年度収集量 40.67kg

(3) 3R 推進のための物品の貸出、配布

① 剪定枝粉砕機の貸出

家庭の庭木などの剪定で発生する枝葉を、粉砕機によりチップ化し、ごみとして排出せずチップを堆肥の原材料や雑草の発生抑制などに活用していただくため粉砕機（2 台）を貸出しています。

R2 年度チップ化量 639.7kg (R2 年 12 月～実施)

R3 年度チップ化量 1,269.4kg

R4 年度チップ化量 1,973.5kg

② 電動生ごみ処理機の貸出

家庭から出る生ごみの減量を推進するため、家庭用電動生ごみ処理機の購入の補助をしています。処理機の購入の前に試用として処理器を貸出しています。

R4 年度件数 28 件 (R4 年 4 月～実施)

③ 雑がみ保管袋の配布

【報道資料】

家庭から出るもえるごみに入れられている雑がみの分別を周知するため、雑がみ保管袋を各家庭に配布しました。

R3 可燃ごみ 5,584 t R4 可燃ごみ 5,404 t

R3 資源ごみ 551 t R4 資源ごみ 569 t

この件に関するお問い合わせ先：

住民環境部環境未来推進課 ゼロカーボンシティ推進係

TEL 0744-33-1660 (内線 691・693)